

報道関係者 各位

令和5年8月31日
(照会先)
全国健康保険協会山形支部
企画総務グループ 高橋 (巧)
電話 023-629-7226

山形支部の健診受診率、全国第1位

～被保険者は10年連続、被扶養者は13年連続～

全国健康保険協会（協会けんぽ）では、病気の早期発見を目的に、35歳以上の被保険者の方を対象に「生活習慣病予防健診」を、40歳以上の被扶養者の方を対象に「特定健康診査」を実施しております。このたび令和4年度の健診受診率について取り纏めましたので公表いたします。

山形支部における令和4年度の被保険者を対象とした健診の受診率は90.8%、被扶養者を対象とした健診は42.1%となっており、共に全国第1位の結果となりました。

被保険者を対象とした健診は平成25年度より10年連続、被扶養者を対象とした健診は平成22年度より13年連続で第1位となっており、全国的にみても非常に高い受診率を長年維持しております。

【直近5年間の被保険者を対象とした健診の受診率（支部別）】（40歳以上）

《平成30年度》			《令和元年度》			《令和2年度》			《令和3年度》			《令和4年度》		
順位	支部	受診率	順位	支部	受診率	順位	支部	受診率	順位	支部	受診率	順位	支部	受診率
1	山形	82.4	1	山形	84.6	1	山形	84.4	1	山形	86.2	1	山形	90.8
2	新潟	76.4	2	新潟	77.5	2	新潟	77.7	2	滋賀	79.3	2	島根	84.9
3	山梨	74.5	3	大分	76.8	3	富山	77.4	3	新潟	79.0	3	新潟	83.1
全国		58.0	全国		60.0	全国		59.0	全国		62.1	全国		65.2

【直近5年間の被扶養者を対象とした健診の受診率（支部別）】

《平成30年度》			《令和元年度》			《令和2年度》			《令和3年度》			《令和4年度》		
順位	支部	受診率	順位	支部	受診率	順位	支部	受診率	順位	支部	受診率	順位	支部	受診率
1	山形	39.2	1	山形	41.1	1	山形	38.6	1	山形	41.3	1	山形	42.1
2	山梨	38.9	2	山梨	40.4	2	山梨	34.3	2	山梨	39.6	2	山梨	41.6
3	石川	33.0	3	滋賀	34.3	3	滋賀	33.7	3	滋賀	38.4	3	滋賀	39.6
全国		24.4	全国		25.5	全国		21.3	全国		26.2	全国		27.7



健診受診率は引き続き上昇傾向に

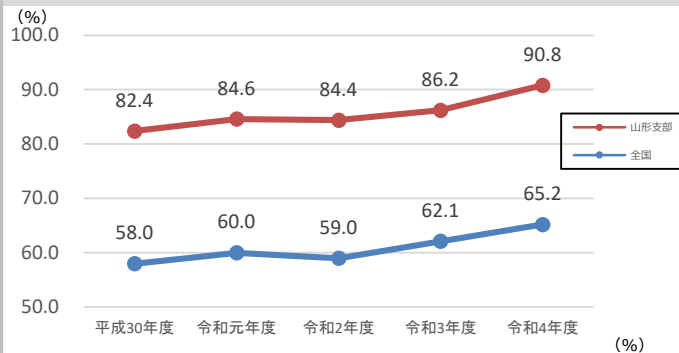
山形支部においては、被保険者・被扶養者共に全国トップの健診受診率を示しておりますが、全国平均においても健診受診率は上昇傾向となっております。

令和3年度と令和4年度を比較すると、被保険者を対象とした健診については全国平均で3.1ポイント、山形支部で4.6ポイントの増加となっております。

山形支部においては元々健診受診率が高い水準にありながらも、高い伸び率を示していることが分かります。

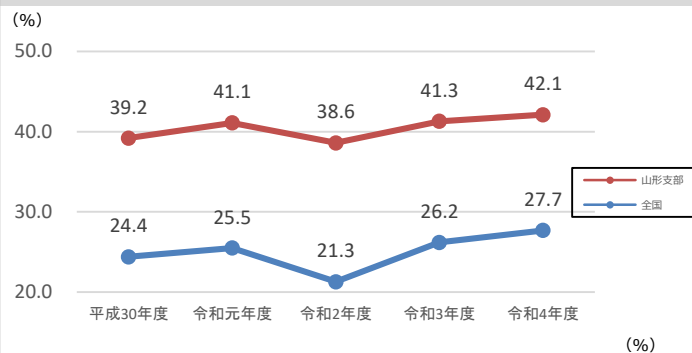
山形支部の受診率が高い要因として、二次医療圏ごとに健診実施機関が充実しており、健診機関によっては早朝より健診を実施するなど受診しやすい環境が整っていることや、事業主の健康に対する意識が高いことが考えられます。

【山形支部及び全国の被保険者を対象とした健診の受診率比較】



	山形	全国	差
平成30年度	82.4	58.0	24.4
令和元年度	84.6	60.0	24.6
令和2年度	84.4	59.0	25.4
令和3年度	86.2	62.1	24.1
令和4年度	90.8	65.2	25.6

【山形支部及び全国の被扶養者を対象とした健診の受診率比較】



	山形	全国	差
平成30年度	39.2	24.4	14.8
令和元年度	41.1	25.5	15.6
令和2年度	38.6	21.3	17.3
令和3年度	41.3	26.2	15.1
令和4年度	42.1	27.7	14.4

※被扶養者の健診受診率は約4割に留まっていますが、実際は、協会けんぽの健診を受けていないだけで、パート先等の勤務先において労働安全衛生法の定期健康診査等を受けている場合も考えられます。

労働安全衛生法の定期健康診査を受診した場合、協会では健診結果データの提供がなかった場合はその健診結果を把握できないため、受診率として算定することができません。

健康を維持していただくために

近年、がんや糖尿病等の生活習慣病の有病者や予備群が増加しています。

疾病全体に占める悪性新生物（がん）、心疾患、脳血管疾患等の生活習慣病の割合は増加し、死亡原因でも生活習慣病が約5割を占めている状況です。

このような状況下において、生活習慣病を引き起こすメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に着目した検査を行う生活習慣病予防健診・特定健康診査を受診することは、ご自身の生活習慣を改善し、疾病発症の予防・早期発見を行ううえで非常に重要です。

山形支部では今後もさらなる受診率向上のために、健診受診の重要性について広く周知するとともに、市町村や健診実施機関との連携した取り組みについても推進してまいります。

また、健診受診後の行動（特定保健指導※の利用や医療機関への早期受診）の重要性についての周知や取り組みについても同様に推進してまいります。

山形支部の健診受診率が全国トップであることと健診受診の重要性について、ぜひ報道関係各所で取り扱っていただきますようお願いいたします。

※＜特定保健指導＞とは、健診を受けた結果、メタボリックシンドロームのリスクのある40～74歳までの方を対象に行う健康サポートです。

健康に関するセルフケア（自己管理）ができるように、健康づくりの専門家である保健師または管理栄養士等が寄り添ってサポートいたします。

協会けんぽでは、加入者の皆様の健康の維持・増進を図るため、35歳から74歳までの被保険者の方を対象に、「生活習慣病予防健診」を実施しております。

また、40歳以上の加入者（被保険者・被扶養者）に対して、メタボリックシンドロームに着目した健診（特定健康診査）を実施しています。

被保険者を対象とした健診受診率のバックデータ

※40歳以上

	対象者数(A)	受診者数(B)	受診率 (B)/(A)
平成30年度	162,380	133,867	82.4
令和元年度	166,383	140,687	84.6
令和2年度	167,771	141,557	84.4
令和3年度	168,880	145,604	86.2
令和4年度	164,348	149,263	90.8

被扶養者を対象とした健診受診率のバックデータ

	対象者数(A)	受診者数(B)	受診率 (B)/(A)
平成30年度	41,345	16,188	39.2
令和元年度	40,773	16,756	41.1
令和2年度	39,788	15,357	38.6
令和3年度	38,552	15,913	41.3
令和4年度	35,479	14,931	42.1

山形支部の加入者数の推移

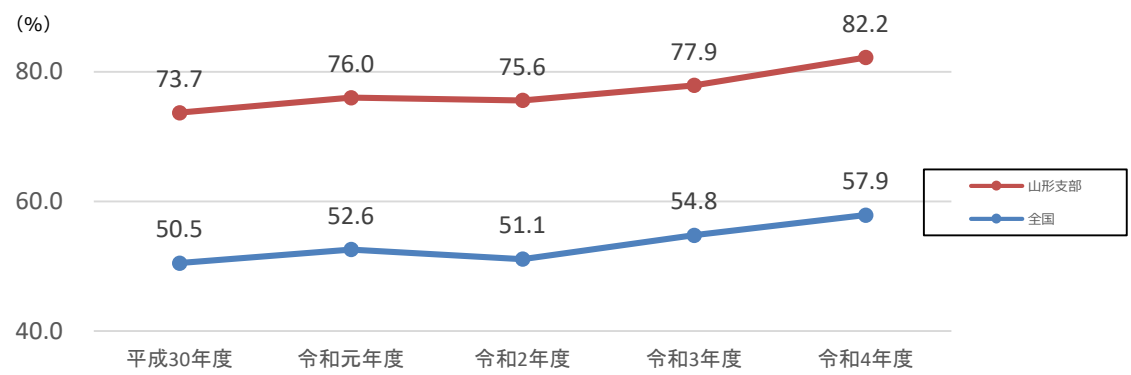
	被保険者数	被扶養者数
平成30年度	249,205	148,521
令和元年度	251,028	145,699
令和2年度	249,161	142,044
令和3年度	246,915	138,043
令和4年度	238,072	130,970

令和元年に大規模健康保険組合解散による協会けんぽへの編入等があったため、被保険者は増加傾向にありました。その後令和4年10月の制度改正により、国や自治体等に勤務する短時間労働者等が共済組合に移行したことで、減少傾向になっています。

【直近5年間の健診受診率（被保険者・被扶養者合計の健診受診率）】

《平成30年度》			《令和元年度》			《令和2年度》			《令和3年度》			《令和4年度》		
順位	支部	受診率	順位	支部	受診率	順位	支部	受診率	順位	支部	受診率	順位	支部	受診率
1	山形	73.7	1	山形	76.0	1	山形	75.6	1	山形	77.9	1	山形	82.2
2	新潟	67.0	2	山梨	68.9	2	富山	67.8	2	滋賀	70.6	2	島根	76.7
3	山梨	66.8	3	新潟	68.4	3	新潟	67.5	3	富山	70.1	3	新潟	74.1
全国		50.5	全国		52.6	全国		51.1	全国		54.8	全国		57.9

【山形支部及び全国の健診受診率比較】



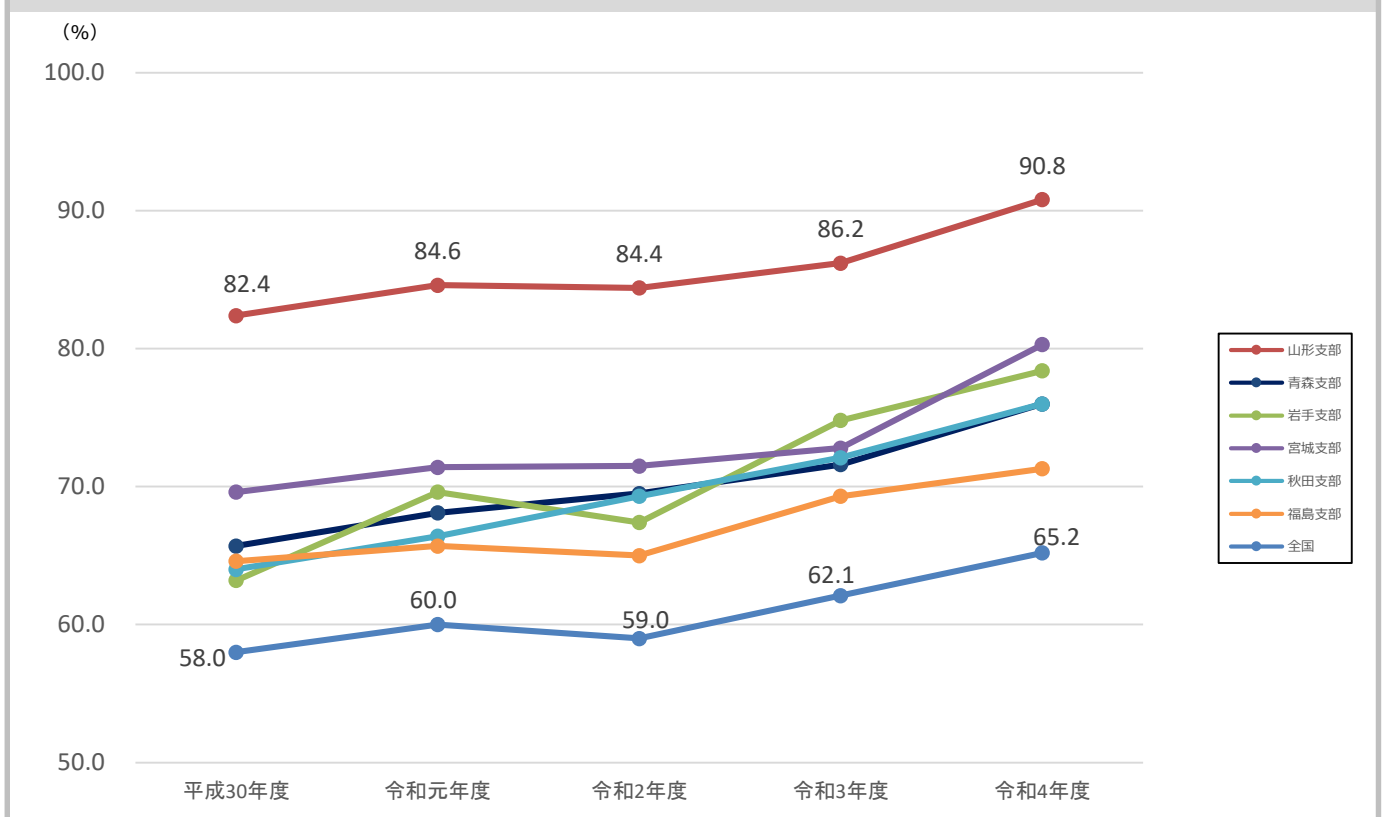
	山形	全国
平成30年度	73.7	50.5
令和元年度	76.0	52.6
令和2年度	75.6	51.1
令和3年度	77.9	54.8
令和4年度	82.2	57.9



【直近5年間の被保険者を対象とした健診の受診率（支部別・東北地方のみ）】

「平成30年度」			「令和元年度」			「令和2年度」			「令和3年度」			「令和4年度」		
順位	支部	受診率	順位	支部	受診率	順位	支部	受診率	順位	支部	受診率	順位	支部	受診率
1	山形	82.4	1	山形	84.6	1	山形	84.4	1	山形	86.2	1	山形	90.8
9	宮城	69.6	10	宮城	71.4	9	宮城	71.5	10	岩手	74.8	9	宮城	80.3
14	青森	65.7	14	岩手	69.6	12	青森	69.5	12	宮城	72.8	12	岩手	78.4
19	福島	64.6	15	青森	68.1	13	秋田	69.3	13	秋田	72.1	14	秋田	76.0
20	秋田	64.0	21	秋田	66.4	18	岩手	67.4	16	青森	71.6	15	青森	76.0
23	岩手	63.2	23	福島	65.7	27	福島	65.0	22	福島	69.3	26	福島	71.3
全国		58.0	全国		60.0	全国		59.0	全国		62.1	全国		65.2

【直近5年間の被保険者を対象とした健診の受診率比較（支部別・東北地方のみ）】

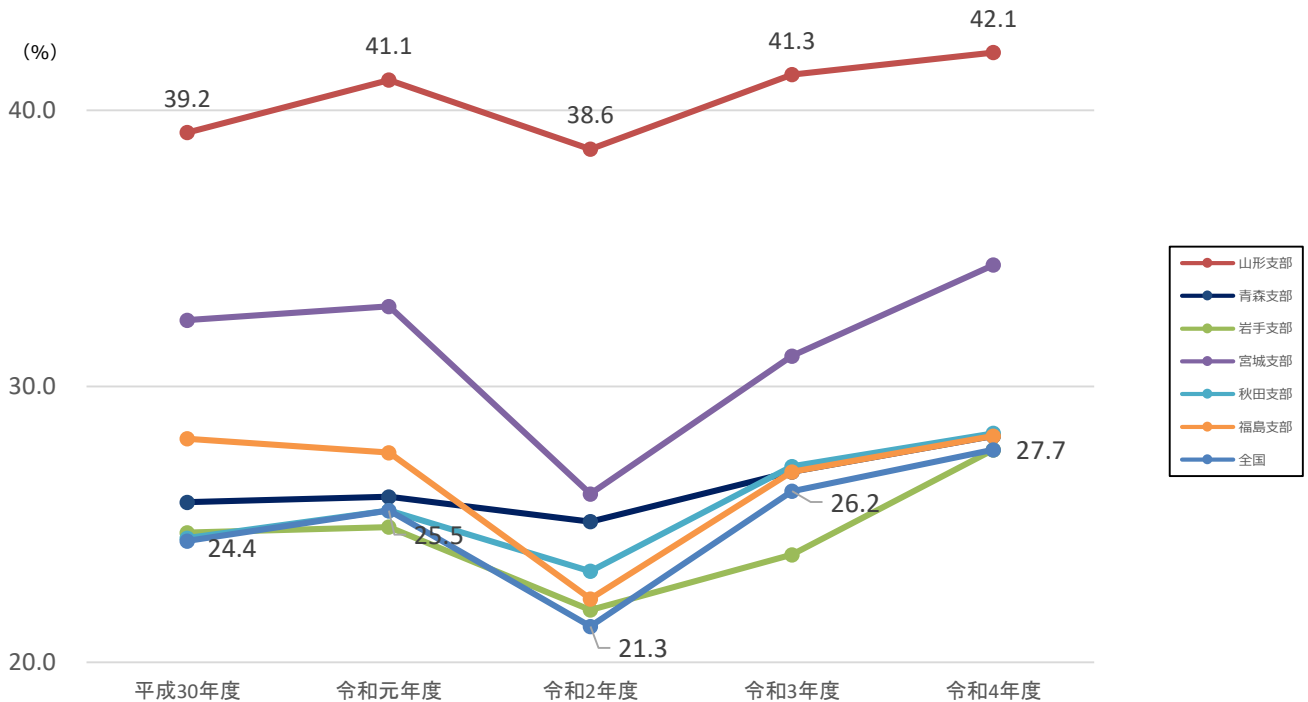




【直近5年間の被扶養者を対象とした健診の受診率（支部別・東北地方のみ）】

「平成30年度」			「令和元年度」			「令和2年度」			「令和3年度」			「令和4年度」		
順位	支部	受診率	順位	支部	受診率	順位	支部	受診率	順位	支部	受診率	順位	支部	受診率
1	山形	39.2	1	山形	41.1	1	山形	38.6	1	山形	41.3	1	山形	42.1
4	宮城	32.4	5	宮城	32.9	10	宮城	26.1	9	宮城	31.1	7	宮城	34.4
12	福島	28.1	14	福島	27.6	2	青森	25.1	20	秋田	27.1	25	秋田	28.3
19	青森	25.8	22	青森	26.0	21	秋田	23.3	24	福島	26.9	26	青森	28.2
25	岩手	24.7	24	秋田	25.5	29	福島	22.3	25	青森	26.8	29	福島	27.7
27	秋田	24.5	24	岩手	24.9	31	岩手	21.9	40	岩手	23.9	30	岩手	27.7
全国		24.4	全国		25.5	全国		21.3	全国		26.2	全国		27.7

【直近5年間の被扶養者を対象とした健診の受診率比較（支部別・東北地方のみ）】





生活習慣病予防健診の検査項目

「生活習慣病予防健診」は、高齢者の医療の確保に関する法律に基づく「特定健康診査」の項目及び労働安全衛生法で定められた「定期健康診査」の項目がすべて含まれています。

また、がん検診のうち、胃がん・肺がん・大腸がん・乳がん・子宮頸がん検診の項目を含んでいるのが特徴です。さらに令和5年4月より自己負担額の軽減を図りました。

(軽減前最高7,169円→軽減後最高5,282円)

■一般健診

健診項目	受診対象年齢	自己負担額
・診察等 ・身体計測 ・血圧測定 ・尿検査 ・血液検査 ・心電図検査 ・便潜血反応検査 ・胸部レントゲン検査 ・胃部レントゲン検査	35歳～74歳	最高5,282円

■令和5年度生活習慣病予防健診（一般健診）の費用

協会けんぽからの補助 13,583円	自己負担額 最高5,282円	健診費用の約7割を 協会けんぽが補助
最高 18,865円		

■付加健診

健診項目	受診対象年齢	自己負担額
・尿沈渣顕微鏡検査 ・血液学的検査・生化学的検査 ・眼底検査 ・肺機能検査 ・腹部超音波検査	一般健診を受診する ①40歳の方 ②50歳の方	最高2,689円

■その他の健診

健診項目	受診対象年齢	自己負担額
・乳がん検診（問診、乳房エックス線検査）	一般健診を受診する 40歳～74歳の偶数年齢の女性	50歳以上 最高1,013円 40歳～48歳 最高1,574円
・子宮頸がん検診（問診、細胞診）	一般健診を受診する 36歳～74歳の偶数年齢の女性 ※36歳、38歳は子宮頸がん単独受診可	最高 970円
・肝炎ウイルス検査（HCV抗体検査、 HBs抗原検査）	一般健診と同時受診	最高 582円